

# デザイン総合実習Ⅱ(建築・環境)※人間空間デザインコース

必修

開講年次：2年次後期

科目区分：実習

単 位：2単位

講義時間：60時間

■**科目のねらい**：デザイン基本科目、展開科目及び発展科目である総合実習Ⅰと人間空間コース関連展開科目、発展科目を踏まえ、具体的な建築物および外部環境についての設計を統合した制作を通して、建築設計に関する知識・技術を深める。1. 外部環境の計画と表現で公園・緑地および公園関連施設の計画・設計の基礎を学び、公共空間の計画を経て、2. 都市部における集住体の計画・設計へと実習を進め、植生、人々の活動、空間の大きさ・密度といった様々な視点と計画力を養う。なお、本科目は建築士受験資格の取得に必要なとされる指定科目（建築設計製図）である。

■**到達目標**：①造園の基本的な計画手法を学ぶ(敷地や地形の読み取り、サイトプランニングの基礎及びプレゼンのための表現技術)。  
②建築についての計画をおこない、平面図、立面図、断面図、透視図、模型などでの確かな表現ができること。  
③建築・造園等を総合した空間デザインの対象として都市部の集住体の計画と設計ができること。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎金子 晋也・中原 宏・矢部 和夫・羽深 久夫・齊藤 雅也・椎野 亜紀夫・山田 信博・山田 良・大島 卓・片山 めぐみ

■**授業計画・内容**：

空間デザインの表現方法

1. 外部環境の計画と表現（公園・緑地の施設整備計画）

- 第 1 回 外部環境の計画と表現
- 第 2 回 外部環境の計画と表現
- 第 3 回 外部環境の設計
- 第 4 回 外部環境の設計
- 第 5 回 外部環境の設計
- 第 6 回 制作物の発表と講評

2. 都市部における集住体の計画・設計（共同住宅／RC造）

- 第 7 回 建築の配置と周辺環境／建築の平面・断面計画と周辺環境
- 第 8 回 建築と周辺環境に関する計画の発表
- 第 9 回 集住体の計画（都市部の住環境に対する批評）
- 第10回 集住体の計画（空間的集合のスタディ）
- 第11回 集住体の計画（集住体の提案）
- 第12回 集住体の計画・設計（提案内容の批評）
- 第13回 集住体の設計（作図／模型）
- 第14回 集住体の設計（作図／模型）
- 第15回 制作物の発表と講評

■**教科書**：1については、『造園計画』、『北海道樹木図鑑 [増補版]』を使用する。  
2については、適宜資料を配布する。

■**参考文献**：『造園計画』／文部科学省

『北海道樹木図鑑 [増補版]』／佐藤孝夫著、本多政史編（亜細西社）

『図・建築表現の手法』／図研究会、東海大学出版会

『建築・都市計画のための空間計画学』／日本建築学会、井上書院

『樹木図鑑URL』／北造協、<http://www.hokuzoukyou.or.jp/zukan/zukan.html>

■**成績評価基準と方法**：出席（40%）と提出課題作品（60%）を総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度・出席	○	○	○	出席、積極的な姿勢	40
発表			○	制作物の意図・内容を明快に説明できること	60
課題・作品	○	○	◎	空間表現が図面上・模型上でできていること	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：設計・製図、人間空間デザインコースの展開科目、デザイン総合実習Ⅰ～Ⅲ（建築・環境）

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業では、基礎的な表現方法から、一連の計画・設計過程までを総合的にを行います。学生各自での努力はもちろんのこと、授業毎での教員とのエスキスチェック・議論を積極的に行ってください。